道徳（人権）学習指導案

1　主　題　　真の仲間をめざして

2　主題設定の理由（省略）

3　ねらい

・アイヌの人々への差別問題を自分の問題と捉え，仲間と共に差別を許さない態度を養う。

・互いを認め合い，支え合う仲間になるために，自尊感情を高める。

4　指導計画

自己をみつめる

平和学習「沖縄戦のこと」　（道徳）　2 時間

・日本で唯一の地上戦を展開し，多くの沖縄住民が犠牲になり，集団自決や住民殺害で多くの住民の人権が踏みにじられた。

文化祭「平和を考える」

（総合的な学習の時間）　5 時間

・沖縄の住民・沖縄戦に関わらなければならなかった人々などの心の声を表現する。

仲間づくり

伝言ゲーム

新聞を使ったゲーム

3 つの話し方

（学級活動）　3 時間

・コミュニケーションやよい人間関係を築くためのスキルを養う。

自分の生き方について考える

江口いとさん「人の値うち」　（道徳）3 時間

・「人の値うち」を外見や肩書きなどで判断する不合理さに気付く。

・同和問題を自分の問題として，差別を許さない態度を養う。

全校での取組

地域の祭り

（総合的な学習の時間）　6 時間

・地域の方々と一体となり，模擬店を出し，多くの人とふれあう。

おはなし広場

・月一回，ひまわりさんによる絵本の読み聞かせを実施。

「大湾昇さんの人権講演」

（総合的な学習の時間）　2 時間

・身近な人権問題に気付き，解決に向けて行動しようとする態度を育てる。

宇梶静恵さん「すべて明日の糧として」

（道徳）　4 時間　本時（4/4）

・アイヌの人々の民族の誇り・尊厳を取り戻し，何が差別に打ち勝つ力となり得たかを考える。

・宇梶さんが今の境地にたどり着けた道筋とその背景にあるアイヌ人々の教えに，私たちは何を学ばなければならないのか考える。

５　本　時

（１）目　標

宇梶静江さんの生き方に共感し，望ましい仲間づくりをする上で，自尊感情を高め，自らの差別解消に向けて積極的に行動しようとする態度を育てる。

（２）普遍的な学習テーマ　　真の仲間づくり

個別人権課題名　　アイヌの人々

（３）展　開

学　習　活　動	指　導　上　の　留　意　点
1　「今，至ってのどか。」と言ったときの，宇梶さんの心の中には，どのような思いがあったのか，発表する。	○自分の考えをわかりやすく伝えられるように支援する。 ○厳しい差別を乗り越えて，至った境地であることに気付かせる。 ○宇梶さんの立場になって考えさせる。
2　「まず自分を愛することから始めよう」と自分を愛することとはどういうことかを話し合う。	○個人で考え，班にして意見を集約して，発表する。　① ○自尊感情とはどういうことかを考えさせる。
3　宇梶さんの「何も恐れるな・・・・さあみんな手をつなごう」のこの言葉に対して，私たちはどのように応えるか，発表する。	○自分の考えをしっかりと考え，まとめさせる。 ○宇梶さんに贈る，私たちのメッセージとして考えさせる。　①③
4　本日の学習で学んだことを，まとめる。	○自分のこころの声を綴り，自分にできることをまとめさせる。　②③

（４）評　価

・友達の意見を聞き，自分の思いを伝えることができたか。　（技能的側面）①

・自らが差別解消に向けて取り組む気持ちがもてたか。　（価値的・態度的側面）②

・自ら大切な仲間づくりをしようとする意欲が高まったか。　（価値的・態度的側面）③